

水戸市議会報

令和2年

12月定例会

No.234

2021年1月15日号



新市民会館に係る不動産の 取得など28議案を可決

- 可決した議案 3
- 代表質問 3～6
- 一般質問 6～9
- 常任委員会, 特別委員会報告 10
- 第3回, 第4回臨時会の概要 11

新春恒例行事となっている水戸市元旦マラソン大会。毎年多数のランナーが千波湖(1周3km)を力強く駆け抜ける。今年は新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で大会が開催された。(写真は令和2年に撮影したもの)

議長新年のあいさつ



議長
内藤 丈男

よき新春を迎えられたことと、
謹んでお喜び申し上げます。

このたび、水戸市議会第61代議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

新型コロナウイルス感染症の影響から平穏な日常を取り戻すため、市民の皆様の健康と安全の確保を基本に議員一丸となって議会活動に取り組んでまいります。

引き続き、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副議長新年のあいさつ



副議長
黒木 勇

旧年中は格別のご厚情にあずかり心より御礼申し上げます。

市民の皆様におかれましては、昨年は感染症対策や社会生活の制限など、大変ご苦労をされた一年であったと存じます。

地域における課題も山積する中、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、その声を市政に反映できるように引き続き、全力で取り組んでまいります。

皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

迎春 本年も市政の発展に努めます

滑 萩 内 土 中 佐 綿 木 後
川 谷 藤 田 中 庭 藤 引 本 藤
友 慎 丈 記 真 次 昭 信 通
理 一 男 美 己 男 雄 健 子

田 森 鈴 黒 高 飯 小 大 渡 須
口 木 木 倉 田 泉 津 辺 田
文 正 宣 富 正 康 亮 政 浩
明 慶 子 勇 男 美 二 一 明 和

栗 塚 原 袴 五 十 小 安 田 松 福
原 塚 孝 勝 川 藏 口 本 島
文 隆 雄 博 夫 栄 蔵 久 辰
(議席順)

市議会議員28名

定例会ありまし



会期

12月7日から22日までの16日間

議員質問

・代表質問6名(3~6ページ参照)
・一般質問14名(6~9ページ参照)

委員会付託議案

(1)各常任委員会及び新市民会館整備等調査特別委員会における市長提出議案の審査

(2)各常任委員会及び新市民会館整備等調査特別委員会の委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告(10ページ参照)

(3)討論 反対2名、賛成1名
(4)採決の結果、いずれも原案のとおり可決

選挙

・水戸市選挙管理委員等の選挙を実施(3ページ参照)

意見書

・議員提出の意見書5件を可決(12ページ参照)

請願・陳情

(1)総務環境委員会の委員長による請願審査結果の報告

(2)令和2年請願第3号を趣旨採択(12ページ参照)

(3)陳情の閉会中継続審査を承認

議員の派遣

・茨城県市議会議長会議員研修会への議員派遣を可決

閉会中所管事務調査

・各常任委員会等からの閉会中所管事務調査を承認



本会議の様子

可決した議案



市長提出議案	
令和2年度補正予算	2件
条例の制定・改正	6件
その他	20件
計	28件

今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

子ども発達支援センター条例の一部改正

就学前の子どもを対象とする療育指導の充実を図るため、子ども発達支援センターの分室を設置するもの

市営住宅及び特定市営住宅条例の一部改正

砂久保住宅の建て替えに伴い、子育て世帯向け住宅の運用に係る規定を整備するとともに、子育て世帯の入居に係る要件緩和等を行うもの

工事請負契約の締結

都市計画道路3・4・14号 赤塚駅西線道路新設(3工区)工事、南消防署移転改築工事、同電気設備工事、酒門小学校長寿命化改良(1期)工事の請負契約をそれぞれ締結するもの

土地の取得の変更

都市計画道路3・3・2号中大野中河内線用地を追加取得するもの

不動産の取得

新市民会館の用に供する建物及び土地を取得するもの

令和2年度補正予算

〔一般会計〕

◆補正総額 19億4540万円増
 主な事業等

- ・千波湖導水施設整備事業費の増額
- ・令和元年台風第19号で被災した農業用施設の国直轄災害復旧事業に対する負担金
- ・財政調整基金の積み立て
- ・公の施設の指定管理等に係る債務負担行為の設定

人事

水戸市選挙管理委員

秋葉 欣二(当選)	小島 睦(当選)	足立 勇人(当選)	仲根 光久(当選)	木名瀬 修一(当選)	鈴木 律子(当選)	鬼澤 真寿(当選)
-----------	----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------

水戸市選挙管理委員補充員

▼代表質問

新生水政改革水戸



学校教育におけるデジタル化、GIGAスクール構想の実践に向けて

Q 年度内に全児童生徒にタブレット端末が配備される。GIGAスクール

※1構想を実践するためには、日々の授業でどのように活用していくのかカリキュラムを定め、教員が習熟する必要があると考える。そこで、新年度に向けての進捗状況を伺いたい。また、学習効果を高めるためにも全ての学校に大型モニターを導入すべきと考えるがどうか。端末を家庭学習で活用する場合の有害サイト等へのアクセス対策とあわせ、見解を伺いたい。



効果的な活用が求められるデジタル機器

A

円滑な導入に向けマニュアルづくりを進める。教員への研修として、学校長向けのオンライン研修や教員向けに端末を活用した授業の公開を行った。今後、普通教室への大型モニターの整備やICT支援員の増員を図る。端末をフィルタリングしアクセスを制限するなど、情報モラル教育の充実を図る。

石川・渡里地区等へのゾーン30整備の拡大を

ゾーン30は年々整備地区を拡大しており、通学時の安全対策として大いに有効であると評価する。子どもの安全をより一層確保するためにも、ゾーン30指定の意義やこれまでの取組による効果を積極的にPRすべきであり、これまでの成果をどう捉えているか見解を伺いたい。また、今後地域に偏りなく全小学校区に拡大していくべきと考える。そこで、市全体への拡大についての見解と人口や交通量の多い石川、渡里、双葉台地区への整備スケジュールを伺いたい。

区域内での交通事故発生件数の減少や通行車両の平均速度低下等の効果が確認されている。今後もあらゆる機会を通じて周知を図る。今年度、石川小学校を中心とした区域の整備を予定している。来年度以降、北西部も含め、整備が継続できるよう警察と協議を進める。

その他の質問

- 新型コロナウイルス対策の更なる充実と地域経済対策は
- デジタル社会への対応に向け水戸市DX構想の着手を
- 那珂川治水対策と北消防署搬出場所の高移転を
- 更なる企業誘致に向けた新たな用地確保策は
- 処理区域の統一等、将来のし尿処理の在り方は

※1 GIGAスクール…創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向け、1人1台タブレット端末環境などを整備する考え方。GIGAは、Global and Innovation Gateway for Allの略。

公明党水戸市議会



地方創生に向けた

デジタル化の取組は

Q 東京一極集中から地方分散への流れをつくる地方創生を加速させるため、デジタル化の推進は大きな武器となる。まちなかへのデジタル化の集中投資や環境整備、5G※等の先端技術の活用は、今後のまちづくりには欠かせないものであり、あらゆる人が情報を不自由なく利用できることが求められている。

A ICTを市民の暮らしや社会経済活動等に広く活用したいと考える。地域課題をICTによって解決する体制を整えるとともに、地域特性や産業構造に適応したスマートシティの実現に向けたビジョンづくりに取り組む。また、セキュリティ対策の強化や専門人材の活用など、組織体制強化にも取り組む。

子宮頸がん予防ワクチンの

情報提供を

Q 子宮頸がん予防ワクチンは、接種による副反応の報告がある一方で、その有効性等が示されている。尊

い命を守るため、定期接種対象者である小学6年生から高校1年生までの女子とその保護者に対し、情報提供を確実に行うべきである。

A 8月に高校1年生の年齢相当の女子約1200名に対し、情報提供のための個別通知を送付した。現在までに約200名に接種券を送付し、ワクチン接種をしていただいた。来年度は定期接種対象者と保護者に国のリーフレットを活用した情報提供を考えている。送付に当たっては、水戸市医師会の協力を得ながら、準備を進めていく。



子宮頸がんに関するリーフレット

その他の質問

- 芸術文化の振興に関する方針の策定状況は
- 今後のコロナ対策と保健所の体制強化は
- 地域ごとのごみ収集カレンダーの作成を
- 町内会の加入率向上に向けた取組は
- 室内型子ども遊び場施設の整備を

日本共産党水戸市議団



東海第二原発の

再稼働反対の表明を

Q (1)大阪地裁は大飯原発の原子炉設置の認可取り消しを命じた。閃電が算定した基準地震動が大規模地震を想定していなかったためだが、東海第二原発でもこの計算式をもとに安全対策工事が進められている。市は、原電や国に基準地震動の再調査や審査のやり直し等を求めるのはどうか。(2)東海第二原発は運転停止中でもトリチウムが年間47億ベクレル放出され、再稼働するとその180倍が放出されることを知事は明らかにした。東海原発(1号機)の6倍以上の出力を持つ東海第二原発の廃棄物の量は計り知れず、汚染水の流出も増え続ける。一刻も早く再稼働中止、廃炉を求めているかどうか。

A (1)日本原電は原子力事業者として、安全対策をしっかりと検証すべきである。(2)広域避難計画を策定できない限り再稼働はあり得ない。

茨城県中央広域水道からの

受水中止を

Q (1)9月定例会で「茨城県中央広域水道水供給事業に係る需給契約水量等の見直しを求める意見書」を全

会一致で可決した。今年度は10年ごとに水利権見直しを行う節目の年だが、市はどのように対応するのか。(2)国は霞ヶ浦導水事業の工期の7年延長と事業費増額を決定し、総事業費は2395億円、県負担は1038億円へ膨れ上がった。霞ヶ浦導水事業は完成後に建設負担金を水道料金に上乗せするので、本市の水道料金に跳ね返ることになる。県は受水団体に説明すると答弁しているのか。市は県中央広域水道の契約解除を求め、負担金の返還を迫ってはどうか。

A (1)引き続き、県との協議を進める。(2)県からは示されていない。県からの受水は、必要な複数水源の一つであり、今後有効に活用する。



霞ヶ浦導水那珂機場の工事現場

その他の質問

- 新型コロナウイルスに係る検査体制の拡充を
- 新市民会館建設計画について
- ・ 聖域なき事業の見直しを
- ・ 建物がない段階での保留床取得は撤回を
- ・ コロナ禍における年間60万人目標の根拠は

※2ゾーン30…歩行者や自転車の安全確保を目的に、通学路や生活道路等の設定区域内において、最高速度を時速30kmに制限するほか、路側帯のカラー舗装や路面への減速を促す表示を行うもの。

民主・社民フォーラム



原子力所在地域首长懇談会と 日本原電との齟齬とは

Q 11月の原子力所在地域首长懇談会において、日本原電と6市村間には新安全協定の取り扱いに齟齬があるとの東海村長の発言があった。6市村側では、新協定が明確に開始している認識だったのに対し、日本原電はそのようには受け止めておらず、東海村長は新協定に定める協議会の設置について、具体的な検討を進めるとの意向を示したが、これはどういうことなのか。事前了解権を盛り込んだ新協定が形骸化してしまうのではと危惧するが、見解を伺いたい。

A 6市村では、日本原電が再稼働を目指すとした以上、第一のステップである事前説明は始まっており、新協定は開始しているという認識で一致した。今後、日本原電の現状認識を確認し、齟齬があれば改め、新協定は開始しているという共通認識の下、協議等を進める。

今後の市営住宅の整備方針と 河和田住宅建て替えの進捗は

Q (1)市営住宅への応募件数は減少傾向にあり、令和元年の応募は88件にとどまった。将来的な人口減少に伴い、公営住宅の需要はさらに減少すると予想されるため、市営住宅全体の管理戸数を再考すべきではないか。(2)老朽化した河和田住宅13棟の解体工事が始まったが、いまだ6棟が残っており地域住民が早期解体を求めている。今後の建て替えのスケジュールと周辺整備の計画について伺いたい。

A (1)元山町住宅8戸、愛宕町住宅16戸及び石川台住宅16戸を廃止するため、今定例会に条例の改正を提案した。今後も管理戸数の最適化を進める。(2)河和田3丁目第一児童公園の北側6棟の解体工事は来年度に実施する。また、地区内の集会所の建て替えや公園施設の在り方について検討中であり、来年度の方針決定を目指す。



解体予定の市営河和田住宅

その他の質問
 ○来年度予算編成の基本方針及び重点施策は
 ○集団感染リスクの高い施設職員への検査実施を
 ○複数の感染症流行に備え保健所の人員体制強化を
 ○コロナ禍で苦しむ労働者の実態把握と対策を
 ○農業集落排水事業の公営企業化に向けた取組は

魁、水戸



コロナ禍における 経済政策と財政状況は

Q (1)コロナ禍による飲食店倒産や失業者、自殺者の増加が全国的に問題となっている。市の状況を伺いたい。(2)市は計5回のコロナ緊急対策を実施し、経済政策と市民生活の安定化を図ってきた。これまでの政策効果と実績を伺いたい。

A (1)地域経済で持ち直しの動きがあり、自殺者や生活保護受給者の増加傾向は見られない。(2)総額約11億5千万円の緊急対策を実施し、一定の効果を上げていると認識している。(3)国では地方創生臨時交付金を増額する見込みである。この財源を活用し、事業者への更なる支援を早期に進められるよう、具体的な対策に取り組む。

那珂川緊急治水対策 プロジェクトの詳細は

Q 国、県、市が進めている那珂川緊急治水対策プロジェクトでは、(1)飯富地区の一部を遊水地とし、住

まいを高台に移転する計画となっている。地区にどこまで求める内容なのか。(2)飯富地区以外の整備の詳細や、(3)計画期間及び事業費について、それぞれ伺いたい。

A (1)将来的に、より治水上安全な地域となるよう、地元理解の醸成を図りながら地域の実情に合った最善策をつくり上げたいと考える。(2)大野築堤の事業スピードが加速するとともに、桜川合流部から勝田橋までの区間における吉沼地区の堤防整備が行われている。併せて、河道掘削や若宮町での樹木伐採、城東地区での既存堤防の強化等が進められている。(3)事業期間等は令和6年度までとなっている。全体事業費は市の負担はなく、国、県のみで約665億円である。



令和元年台風第19号で被災した飯富地区

その他の質問
 ○都市計画道路3・3・2号中大野中河内線の整備は
 ○自転車のコース設定と利用計画の見直しは
 ○公共交通の第2次再編計画の内容は
 ○県立図書館と市立図書館の違いは
 ○中央図書館、博物館、平和記念館の在り方は

県都市民クラブ



都市計画道路整備の進捗と

交通渋滞解消の方策は

Q (1)都市計画道路3・4・14号栄町

若宮線及び3・4・189号泉町天王町線は、現在建設中の新市民会館が完成した際に、重要な基幹道路となる。交通体系を整理し、利便性の向上を図ることで周辺施設の利用者も増えると考ええる。整備の進捗状況を伺いたい。(2)主要地方道水戸神栖線においては、市と県が干波湖周辺にそれぞれ誘客施設の建設を計画しており、今後さらに混雑することが懸念される。観光客や周辺住民の利便性向上のため、県に道路整備を要望すべきである。見解を伺いたい。

A (1)栄町若宮線の当該区間における

歩道の整備や交差点改良等を県に要望する。また、泉町天王町線整備の事業化に向けた検討を進める。(2)公安委員会と協議・調整している。また、道路の早期整備に向け、事業者の県に要望書を提出する。

子どもたちの学力向上策と 教師のタブレット活用能力向上策は

Q (1)市では、これまで様々な教育指

針を掲げ、子どもたちの学力向上に努めてきた。小中学生の成績目

標値については県平均より高い水準に設定したが、直近の結果で県平均を下回った。この結果を真摯に捉え、これからの教育に生かすことが重要と考える。そこで、今後の学力向上策を伺いたい。(2)令和3年度からタブレット端末が各校に導入されるが、現時点で各教師のタブレット端末活用能力に差があり、教育力の格差が生じてしまっているのではと危惧する。教師の活用能力向上策について伺いたい。

A (1)中堅教員向けの研修や総合教育

研究所の指導主事による訪問指導等で授業の改善に努めている。今後、これらの取組を検証し、より充実させる。(2)学習場面に応じて効果的に活用できるように研修を行い、段階的にスキルの向上を図る。



タブレット端末を用いた授業

その他の質問
○令和3年度の税収見込みと予算編成方針は
○ゼロカーボンシティの実現に向けた取組は
○中高一貫校スタートに伴う市内中学校の取組は
○過疎地域における交通政策の方針と取組状況は
○巡回型ワンボックスカー活用に対する見解は

コロナウイルス感染拡大から 暮らしと事業者を守る施策を



Q (1)中小事業者支援のため、①事業

継続緊急支援金の申請延長や市独自の緊急融資の実施を。②持続化給付金と家賃支援給付金の延長を国に求めている。③困窮世帯支援のため、①緊急小口資金や総合支援資金の支給延長と、非課税世帯等の償還免除を。②住居確保給付金の支給延長を国に求めている。③収入減少世帯支援のため、①国保税や介護保険料の特例減免延長等の実施を。②市税や公共料金の減免実施と市独自の救済策の実行を。

A (1)①次なる施策に取り組み。市融資

制度等を周知する。②国の動向を注視し、市支援と合わせ活用促進を図る。(2)①3月末まで延長する。免除要件等を国が検討している。②最長12か月に延長した。(3)①国に合わせ対応する。②国や他自治体の動向等を見極め対応する。

市の窓口 おくやみコーナーの設置を



Q 家族が亡くなった際に、遺族が行

う様々な手続きの負担を軽減するために登場したサービスがおくやみコーナーである。死亡に伴う市町村窓口での手続きをワンストップで対応するシステムであり、窓口でのたらい回しや手続き漏れを防ぎ、遺族の負担軽減と職員の業務時間短縮にもつながる。国では5月に自治体向けの支援システムの提供を開始したところであり、県内でも日立市や取手市が既に導入している。そこで、本市においてもおくやみコーナーを設置してはと考える。見解を伺いたい。

A おくやみコーナーを設置すること

により、複数の担当課への移動や窓口での申請書記載の手間が省け、遺族の負担軽減につながると考える。先進事例を参考に設置の効果や課題を検証し、検討を進める。



緊急小口資金貸付窓口(市役所2階)

その他の質問

○インフルエンザ予防接種の補助の拡大を
○市営河和田住宅におけるハト対策を



おくやみコーナー(日立市役所)

その他の質問

○犬、猫の飼い主の福利厚生制度の新設を
○いばらきパートナーシップ宣誓者へ傷病手当支給を
○いばらきパートナーシップ宣誓者の福利厚生の見直しを



地域の清掃活動

その他の質問

- 原発再稼働の是非を問う市民意向調査の条例化を
- ファシリティマネジメントによる施設経営を
- 新市民会館に併設する店舗計画の問題点は



開放学級の様子

その他の質問

- 新市民会館整備計画の見直しについて
- ・事後報告の案件が多いが、議会軽視では
- ・コロナ禍の下、現計画は中止の決断を



保育の様子

その他の質問

- 所得減少による生活困窮の現状と支援策は
- 新しい生活様式でのICT弱者への支援策は



水戸市発祥のオセロ

その他の質問

- 民間との連携によるオンデマンド交通システムの導入を
- 予防保全型の維持管理に向けた路線橋、跨道橋の状況は

福祉とコミュニティの専門職員を
各市民センターに配置しては

谷山 秋慎

開放学級の民間委託中止を

土田 記代美

保育士の確保、処遇改善に
向けた取組は

佐藤 昭雄

水戸市発祥のオセロを
市技として条例制定を

鈴木 宣子

Q コロナ禍で地域の助け合いの重要性が高まっているが、町内会の組織率は年々低下している。(1)加入促進に向けた取組と今後の課題に対する見解は。(2)横浜市では、町内会でも避難要支援者の見守り活動を行っている。本市でも検討してはどうか。(3)住民に任せきりで負担が大きい。各市民センターに、福祉とコミュニティの専門職員を配置し、住民と協働で地域の課題解決に当たってはどうか。

A (1)水住協※4や県宅地建物取引業協会と協定を締結するなど、様々な加入促進策を展開している。加入のメリットや役員負担への懸念等の払拭が課題である。(2)重要性は認識している。先進事例を研究し、検討する。(3)課題を地域自らが解決していくコミュニティ力を向上させることが重要と考える。

Q 来年度から開放学級の民間委託が全校実施となる。昨年度1校、今年度13校で実施した事業成果の報告もなく、次年度の事業者は未定の状態での決定である。(1)民間委託のメリットや現場の意見、事業者の比較など十分に検証すべきだが、拙速な進め方ではないか。(2)支援員には12月に入り文書1枚で通知し、1月中旬に進退を決めるよう求めているが、十分な説明がなく配慮を欠いた対応ではないか。(3)既に業者間の格差が出ている民間委託は中止し、市が責任を持って運営し充実させるべきでは。

A (1)昨年度のモデル事業の成果を踏まえ、保護者や関係者等に広く意見を伺い、民間委託は有効との提言を受けた。(2)情報提供、訪問指導員の巡回を行っている。(3)速やかに民間委託の全市拡大を進める。

Q 子育て支援として保育所の充実が求められている。しかし、保育士の人手不足により園児を定員まで受け入れられないことが課題となっている。そこで、保育士確保と処遇改善に向けた取組を伺いたい。

A 市独自の取組として、保育士等就労支援補助金、新卒保育士等就労奨励補助金を創設し、136人の保育士を確保した。民間保育所によりよい職場環境づくりのため、施設型給付において、昇給や賃金改善、技能や経験に応じた役職の設置、キャリアアップの仕組みを構築する処遇改善等加算の活用促進など、賃金体系の改善を図っている。また、保育士負担を軽減する保育支援者や、保育士資格取得を目指す保育補助者を雇用する民間保育所に対し補助を行っている。今後も積極的に取組を進めていく。

Q (1)山形県長井市では、市の知名度アップや誘客を目的に、けん玉を市技とする条例を制定した。尾道市でも囲碁を市技に定めている。これら条例化の取組についてどう評価しているのか伺いたい。(2)オセロ発祥の地・水戸市の矜持として、本市でもオセロの拠点となる部署を設置し、オセロを市技に定める条例を制定してはどうか。各種大会の誘致や地域コミュニティの創出、医療・福祉現場など、様々な展開への根拠条例となると考える。見解を伺いたい。

A (1)地域特有の文化資源を有効に生かしたまちづくりの取組として大変特徴があると捉えている。(2)まずは市民に浸透させ、オセロ発祥の地であることへの誇りや愛着を深めながら、まち全体の機運を高めていく。前向きに検討を進める。

※4 水住協…水戸市住みよいまちづくり推進協議会の略。

GIGAスクール開始に向けた 環境整備の進捗状況は

もり森 正慶

Q 第2回臨時会でタブレット端末導入に係る補正予算を、第3回定例会で端末2万台取得の議案を可決した。4月からのGIGAスクール開始に向け、現在準備が進められているが、その詳細が教職員や保護者へ十分に伝わっていない状況である。そこで、(1)導入する端末の機種、(2)導入スケジュール、(3)通信環境の整備状況、(4)ソフト面の準備状況等を伺いたい。

A (1)クローム・ブックという機種で、タブレットとしても使用できるキーボード付きの端末である。耐久性も高くウイルス対策も万全である。(2)1月から配備を進め、2月下旬には全校に行き届く。(3)年度内の完成を目指し、工事を進めている。(4)学校長や教員向けの研修を実施するとともに、授業での効果的な活用例を研究している。



導入予定の端末

その他の質問

- ICT支援員等の長期的、計画的な配置を
- ひきこもり等に関する相談支援体制の強化を
- アダストリアみとアリーナ周辺の交通渋滞対策は

児童虐待とDVの防止に向けた 取組状況は

藤子 後通

Q (1)コロナ禍での外出自粛など様々な要因でDVが増えてきていると聞いた。現状を伺いたい。(2)児童虐待防止のため要支援児童を保育所に通園させる必要がある。市の取組を伺いたい。(3)学校での様子から虐待の可能性があると判断した際の対応を伺いたい。(4)保育所等に受診者の状況把握は、誰一人取り残さない社会の実現において重要と考える。市の取組を伺いたい。

A (1)DV相談対応件数は、363件で昨年度の約1.67倍増である。(2)必要に応じ入所手続きを支援し、見守り体制を整えている。(3)各学校で早期対応に努めており、発見時は児童相談所等に通告している。(4)毎年、個別訪問等調査を行っており、関係機関との調査で対象の全児童の居所を確認した。



児童虐待防止呼びかけのチラシ

その他の質問

- こんにちは赤ちゃん事業の相談体制と指導方法は
- 要支援妊産婦の支援における医療機関との連携は
- 不足する看護職確保に向け再就職支援等の周知を

幹線市道27号線(河和田・開江線) 中丸橋付近の安全対策は

倉富 高士男

Q 幹線市道27号線(河和田・開江線)は、国道50号と県道真端水戸線と結ぶ重要なアクセス道路である。当路線の渡里用水路上に架かる中丸橋付近は道路幅員が狭く歩道もないため、歩行者等が危険にさらされており、車両の衝突事故も多発している。中丸橋の拡幅や歩道整備など、早期の安全対策を要望する。そこで、事業の進捗と今後の整備スケジュールを伺いたい。

A 中丸橋の拡幅と歩道の整備に向け、平成29年度から詳細設計、30年度に用地測量を実施し、令和元年度から補償調査と用地取得に着手している。中丸橋の拡幅については、令和3年度の整備を予定している。今後は、歩車分離を図り歩行者の安全を確保するため、地権者の理解と協力の下、歩道整備の早期完成に向け鋭意努力する。



中丸橋

その他の質問

- 避難行動マイ・タイムラインの作成支援を
- コロナ感染予防を考慮した避難所運営は
- 赤塚出張所への防災・駐車場機能の整備を

都市計画道路3・3・2号線 酒門工区の整備状況は

綿引 健

Q (1)酒門工区は、平成28年度末時点で用地取得が約82%、整備状況は事業費全体で約50%であった。29年度以降の用地取得状況、工事の進捗と完成の見通しについて伺いたい。(2)沿線では商業店舗や住宅の立地が進んでおり、周辺環境の変化にあわせた道路整備の要望も出ている。29年3月定例会においては、通学路及び周辺住民の安全確保策について、関係機関と連携し検討していく旨の答弁があった。その後の進捗状況を伺いたい。

A (1)元吉田工区から県道中石崎水戸線の区間は用地買収が完了し、令和3年秋の暫定供用開始に向け工事を進めている。残る国道6号をまたぐ区間は速やかに用地取得を進める。(2)スクールゾーンの路面標示や歩道整備をはじめ、視認性向上等のソフト対策を講じている。



早期完成に向け整備が進む酒門工区

その他の質問

- ごみ出しが困難な世帯への支援の現状と今後の対策は
- 新しいごみ分別方法の更なる定着促進策は

大串下大野団地における 圃場整備の進捗状況は

小川 勝夫

Q 現在、市内6団地と茨城町内7団地

地で、国営緊急農地再編整備事業による圃場整備が行われている。

今年度、ある団地で工事が遅れ、2年連続で水稲を作付けできない事態が発生した。大串下大野団地では昨年度から工事が始まったが、営農者からは工事の遅延を心配する声が多く上がっている。そこで、当該地の事業進捗と今後の計画を伺いたい。また、円滑な工事の実施を国に要望すべきである。

A 当該地を5工区に分けて事業が進められている。第1工区は今年度に完成予定で、第2工区は来年度内の完成に向け工事が進んでいる。

他工区も順次工事を行う計画である。事業が計画どおりに進むよう、国に強く申し入れていく。今後、関係機関と連携を図り、営農に影響が出ないよう取り組んでいく。



圃場整備が進む大串下大野団地

その他の質問

- 那珂川緊急治水対策プロジェクトについて
- ・那珂川における治水対策の状況は
- ・澗沼川における整備に向けた進捗は

人・農地プランの美質化に向けた 今後の展望は

田口 蔵

Q 全国的に農業者の高齢化と減少が

著しく、本市でも深刻さを増している。将来、誰がどのように農業生産を担うか明確にすることが重要かつ喫緊の課題である。市は農地の利用再編に向けた人・農地プランを進めており、地域全体で考えていくことが肝心と考える。そこで、(1)10月、11月に行われた話し合いの内容と参加状況、(2)実質化に向けた今後のスケジュールと市が考える地域農業維持の方針について、それぞれ伺いたい。

A (1)24地区に分けて話し合いを行い、139名の担い手から現状への意見を聞くとともに、意向確認を行った。(2)欠席者の意向も確認して結果を取りまとめ、3月開催予定の検討会で市のプランを決定する。今後、まとまりのある集落等から具体的な話し合いを行っていく。



人・農地プランの話し合いの場

その他の質問

- 那珂川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況は
- マイ・タイムラインなど防災啓発の取組は
- 米価下落を踏まえた米農家の所得向上策は

繁華街での客引き対策と 飲食店等の実態把握を

田和 須浩

Q (1)市最大の繁華街である大工町、

栄町、泉町周辺は、客引きが多く安心して利用できないとの声がある。歌舞伎町やすすきの声における客引きを減らした事例を参考にすることで対策が可能と考える。(2)市内の飲食店等の増減はまちのにざわいを図るバロメータとなる。正しく把握することは政策決定への重要なファクターとなることから、廃業と開業の実数を正確に把握することが重要と考える。それ

A (1)警察に取り締り強化の要望を行うとともに、他地域での対策の調査研究を行い、地域の団体等と協力し効果的な対策に取り組む。(2)毎年行う中心市街地の空き店舗実態調査に加え、コロナ禍での廃業店舗等の動向についても地元

の協力を得ながら実態把握に努める。



夜の大工町繁華街

その他の質問

- ホーリーホックとの市立競技場利用の協議は
- ごみ集積所の適切な設置管理に対する指導は
- 赤塚駅の南北間の渋滞緩和策は

赤塚駅西線開通が遅れているが 来年度内に完成か

福島 三辰

Q 都市計画道路3・4・149号赤

塚駅西線は、JR常磐線の下を通過し、国道50号を終点とする総延長480m、幅員16mの道路である。総額35億8千万円の事業費による赤塚駅周辺地区の南北一体化は、第二副都心として市の発展に大きく貢献するものと考えられる。円滑な事業進行を願うが、当初の予定より工期が遅れていると聞いた。早急に解決を図り、開通に向け事業を推進すべきと考える。現状と今後の見通しを伺いたい。

A 当初は令和3年度末の開通を目指していたが、今年度2億1千万円の工事途中で非常に硬質な岩盤が確認された。その対応に時間を要したため、全体事業計画に遅れが生じた。引き続き、国の補助金等の財源確保に努め、令和4年内の開通を目指して事業を推進する。



都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線

その他の質問

- 市のコロナ対応及び今後の見通しは
- コロナワクチンの市民への供給予定は

文教福祉委員会



子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例

主な質疑 子ども発達支援センターの分室を設置することについて、分室における指導内容及び体制、今後の分室の増設計画、児童発達支援を行う民間事業者との連携など。

主な意見 今後の通所療育指導の在り方を整理し、分室の適正な配置に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



消防本部南消防署移転改築工事及び電気設備工事請負契約の締結

主な質疑 工事請負契約締結までの経緯、PFI手法を導入しなかった理由、新施設の機能及び構造、緊急車両の動線など。

主な意見 消防署は市民の生命と財産を守る重要な拠点であることから、令和4年12月の完成に向け、遅延が生じないよう確実に事業を推進されたい。また、消防職員の資質向上に努め、今回の移転改築を契機に消防体制の更なる強化を図られたい。

全会一致 賛成

新市民会館整備等調査特別委員会



不動産の取得(新市民会館)

主な質疑 新市民会館の用に供する建物及び土地を取得することについて、施設完成前に取得する法的根拠、権利変換計画の内容及び都市再開発法上の規定、参加組合員及び組合員の構成など。

主な意見 新市民会館の早期完成に向け、参加組合員としての義務を果たすとともに、慎重かつ迅速に事業を推進されたい。

賛成多数

総務環境委員会



指定管理者の指定(水戸芸術館, 国際交流センター, 総合運動公園等)

主な質疑 令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間、各施設の指定管理者となる団体の取組実績とその評価など。

主な意見 (1)より市民が利用しやすい施設を目指して、市と指定管理者が連携しながら、サービスの向上に努められたい。(2)総合運動公園等のスポーツ施設については、維持管理の効率化に努め、市民スポーツの環境向上を図られたい。

全会一致 賛成

建設企業委員会



市営住宅及び特定市営住宅条例の一部を改正する条例

主な質疑 砂久保住宅の建て替えに伴い、子育て世帯向け住宅の運用に係る規定等を整備することについて、入居者資格、定期借家契約の考え方、入居者の募集時期、子育て世帯向け住宅の特徴など。

主な意見 (1)砂久保住宅の入居希望状況を踏まえ、新たな子育て世帯向け住宅の整備を検討されたい。(2)入居者資格を喪失し、他の公営住宅等に転居する際には丁寧な対応に努められたい。(3)子育て世帯にとって、より魅力ある住宅となるよう、まちなか居住誘導施策の適用や入居者資格の緩和等について検討されたい。

賛成多数

都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線道路新設(3工区)工事請負契約の締結

主な質疑 工期及び工事の時間帯、工事に伴う騒音や振動への対応など。

主な意見 (1)工事概要について、地域住民への丁寧な説明と周知に努められたい。(2)工事に当たっては、万全な安全対策を講じた上で着実な整備を図られたい。

全会一致 賛成

常任委員会等委員一覧

(令和2年10月19日現在)

建設企業委員会 委員長 飯田正美 副委員長 萩谷慎一 委員 中庭次男 // 五十嵐博 // 小川勝夫 // 松本勝久	産業消防委員会 委員長 大津亮一 副委員長 森 正慶 委員 田口文明 // 黒木 勇 // 渡辺政明 // 栗原文隆 // 安藏 栄	文教福祉委員会 委員長 鈴木宣子 副委員長 綿引 健 委員 土田記代美 // 木本信太郎 // 後藤通子 // 袴塚孝雄 // 田口米蔵	総務環境委員会 委員長 小泉康二 副委員長 佐藤昭雄 委員 滑川友理 // 田中真己 // 高倉富士男 // 須田浩和 // 福島辰三	議会運営委員会 委員長 田口米蔵 副委員長 高倉富士男 委員 田中真己 // 綿引 健 // 渡辺政明 // 袴塚孝雄 // 松本勝久 // 福島辰三
水泳競技施設等調査特別委員会 委員長 袴塚孝雄 副委員長 後藤通子 委員 全議員 (議長を除く)	借楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会 委員長 松本勝久 副委員長 木本信太郎 委員 全議員 (議長を除く)	新ごみ処理施設整備等調査特別委員会 委員長 福島辰三 副委員長 小川勝夫 委員 全議員 (議長を除く)	新市民会館整備等調査特別委員会 委員長 渡辺政明 副委員長 高倉富士男 委員 全議員 (議長を除く)	行財政改革調査特別委員会 委員長 須田浩和 副委員長 栗原文隆 委員 全議員 (議長を除く)

無所属 会長兼会計	代 幹事長兼会計	立憲みと 幹事長兼会計	副代表	代 代表	民主・社民フォーラム 副代表	団 幹事	日本共産党水戸市議団 幹事	副会長	副会長	魁、水戸 副会長	副会長	副幹事長	幹事	代 代表	公明党水戸市議会議 副幹事長	副幹事	副幹事	幹事	副会長	会長代理	顧問	新生水政改革水戸 顧問				
田	滑	萩	綿	佐	飯	土	中	須	栗	袴	後	木	渡	森	鈴	高	黒	五十	内	小	大	小	安	田	松	福
口	川	谷	引	藤	田	庭	中	田	原	塚	本	辺	木	正	木	倉	木	嵐	藤	泉	津	川	藏	口	本	島
文	友	慎		昭	正	記	次	浩	文	孝	通	政	太	正	宣	富	士	男	男	丈	康	亮	勝	米	勝	辰
明	理	一	健	雄	美	美	男	和	隆	雄	子	郎	明	慶	子	男	男	博	男	二	一	夫	栄	蔵	久	三

各党派等の構成メンバー
 (令和2年10月19日現在)

令和2年第4回臨時会の概要
 令和2年第4回臨時会を11月26日に開催し、国に準じた給与と改定措置として、市職員、市議会議員及び常勤特別職の期末手当の引き下げ(0.05月分)を行う条例改正や、給与改定に伴う各会計予算の補正措置を講じる議案9件を、原案のとおり可決しました。

令和2年第3回臨時会の概要
 令和2年第3回臨時会を10月19日に開催しました。冒頭、安藏栄議長から議長辞職願が提出されたため、議長選挙を実施し、内藤丈男議員を新議長に選出しました。その後、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策(第5弾)について補正措置を講じる議案を、原案のとおり可決しました。

令和2年度一般会計補正予算〔主な事業〕
 ・市保健所のPCR検査機器を1台増設
 ・自動車運転代行業への支援
 ・経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業(第2弾)
 ※他事業の減額により予算増減なし

令和2年度一般会計補正予算
 ・市保健所のPCR検査機器を1台増設
 ・自動車運転代行業への支援
 ・経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業(第2弾)
 ※他事業の減額により予算増減なし



議会日誌

10/9	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会	11/10 11/26	偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会 臨時会(本会議) 議会運営委員会 総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会	12/16 12/17	本会議 代表者会議 偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会 総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
10/13	議会報編集委員会				
10/19	臨時会(本会議) 議会運営委員会 代表者会議 総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会	11/27	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 水泳競技施設等調査特別委員会 新市民会館整備等調査特別委員会	12/18 12/21 12/22	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等調査特別委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 本会議 議会報編集委員会 議会報編集委員会
10/23	新市民会館整備等調査特別委員会				
11/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会	11/30 12/7 12/14 12/15	議会運営委員会 議会運営委員会 本会議 本会議 本会議		

可決した意見書



今定例会では、議員提出議案として、5件の意見書を可決しました。

- 1 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
- 2 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
- 3 犯罪被害者支援の充実を求める意見書
- 4 新型コロナウイルス感染症の感染防止の最前線に立つ医療機関への手厚い支援を求める意見書
- 5 男女平等参画社会の実現に向けた取組の推進を求める意見書

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/28	3/1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	9	10	11	12	13
14	15 本会議 (代表質問)	16 本会議 (代表質問) (議案質疑 及び 一般質問)	17 本会議 (議案質疑 及び 一般質問)	18 常任委員会	19 常任委員会	20
21	22 常任委員会	23 議会運営委員会	24 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	25	26	27

※3月9～14, 20, 21, 23日は議案調査

請願の結果



- 採択
令和2年請願第3号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を国に提出することを求める請願
男女平等参画社会の実現を求める趣旨について了とし採択とした。

編集委員会

- 委員長 小川 勝夫
副委員長 栗原 文隆
委員
滑川 友理 内藤 丈男 土田記代美
佐藤 昭雄 後藤 通子 森 正慶
鈴木 宣子 黒木 勇 小泉 康二
大津 亮一

編集後記



水戸市マスコットキャラクター
「みとちゃん」

第3波とも言える新型コロナウイルスの感染拡大が見られる中、令和2年第4回定例会では、新たな生活様式に対応できるまちを目指し、教育や医療、福祉、まちの整備計画などについて、活発な議論や慎重な審査を行いました。

このような時代だからこそ、年齢や性別、障害の有無などにとらわれることなく、誰もが安心して暮らすことができ、誰一人取り残さない笑顔あふれる市になるよう、全力で取り組んでまいります。
[滑川 友理 記]